

アンテナブースター

取扱説明書



お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故にすることがあります。

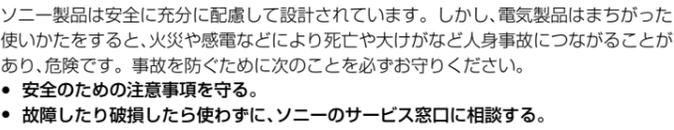
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この**取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

WB-01

© 2013 Sony Corporation Printed in Japan

4-488-077-03 (1)

4488077030



警告表示の意味 この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。	注意を促す記号 <div> 火災</div> <div> 感電</div> <div> 注意</div>
警告 この表示の注意事項を守らないと、 火災 や 感電 などにより 死亡 や 大けが など人身事故につながる可能性があります。	行為を禁止する記号 <div> 禁止</div> <div> 分解禁止</div> <div> ぬれ手禁止</div>
注意 この表示の注意事項を守らないと、 火災 やその他の事故により けが をしたり周辺の物品に 損害 を与えたりすることがあります。	行為を指示する記号 <div> 指示</div>

 警告	下記の注意を守らないと、 火災 や 感電 により 死亡 や 大けが につながる可能性があります。
 火災	
 感電	

 禁止	水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニーの業務用商品相談窓口にご相談ください。
--	---

 指示	ケーブルを接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。
--	--------------------------------------

 指示	ケーブルを接続するときは、接続先の機器の電源を切ってください。感電や故障の原因となることがあります。
--	--

 ぬれ手禁止	ぬれた手で接続ケーブルを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。
---	--------------------------------------

 禁止	接続ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因となります。 <ul style="list-style-type: none">ケーブル(コネクタ部を含む)を加工したり、傷つけたりしない。 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。 ケーブルを着脱するときは、必ずコネクタ部を持って抜く。 万一、ケーブルが傷んだら、交換してください。
--	---

 注意	下記の注意事項を守らないと、 けが をしたり 周辺 の物品に 損害 を与えたりすることがあります。
--	--

 禁止	無理に引っ張ると、接続されているアンテナやチューナーなどが落下し、けがの原因となることがあります。
--	---

 禁止	ぶらさがったり、物をひっかけたりしないでください。壊れたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
--	--

 分解禁止	分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。
--	--

 禁止	ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。
--	--

 禁止	DC入力端子に規格以外の入力電圧をかけると、火災や感電の原因となることがあります。
--	---

 禁止	上記のような場所やこの取扱説明書に記されている使用条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。
--	--

 注意	ゆるいと、ずれたり落下してけがの原因となります。
--	--------------------------

 指示	接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。充分注意して接続・配置してください。
---	---

 指示	コード類を接続したまま本機を移動させると、コードに傷がついて火災や感電の原因となることがあります。
--	---



- 使用上のご注意**
- 本機をご使用になるときは、必ずワイヤレスレシーバーやアンテナディバイダー WD-01などに接続してください。チューナーやディバイダーに接続しないと本機に電源が供給されず、ブースターとして動作しません。
- 本機は、周囲温度0℃～50℃の範囲で動作します。ただし、常時40℃以上となる場所や、直射日光の当たる場所(特に屋外での使用時)では、本体の表面が変色することがあるのでご注意ください。また、発熱体(ライト、パワーアンプなど)の上や近くには置かないでください。
- 本機は、少々の水滴の付着やほこりのある場所での使用を考慮して設計されています。しかし、水分やほこりの多い場所や、活性ガスにさらされる場所での使用は機器の寿命を縮めるおそれがあります。このような場所での使用はできるだけ避けてください。
- 汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの薬品類は、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまったりすることがありますので、使用しないでください。

概要

ワイヤレスマイクロホン受信システム用、高性能、高信頼性のアンテナブースター
アンテナが受信したワイヤレスマイクロホンの微弱電波を増幅し、同軸ケーブルの伝送損失を補うことによって良好な電波の受信を可能にします。

- 小型・軽量**
- 寸法：25 mm × 25 mm × 100 mm（ブラケットを除く）
- 質量：約120 g
- 小型のため、配管内への組み込みなどが可能です。

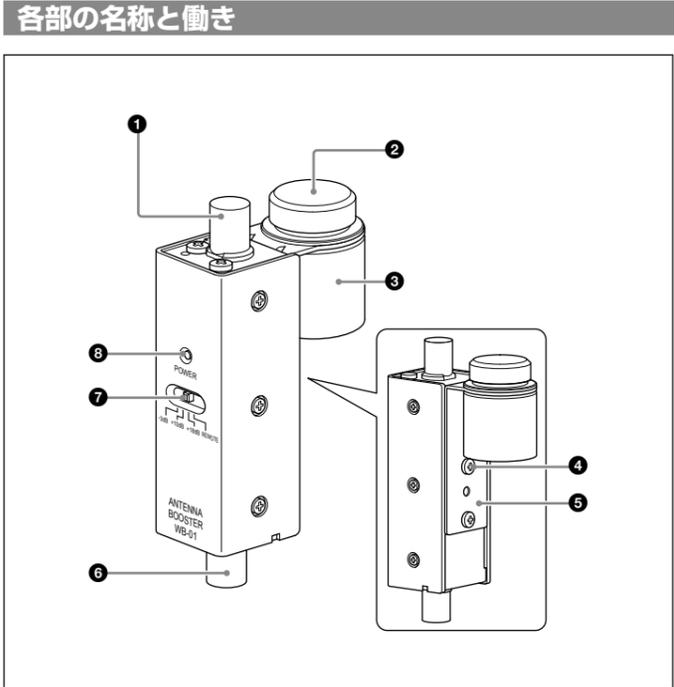
−3 dB/+10 dB/+18 dBの利得(GAIN)切り換えが可能
受信状況に合わせて、利得を−3 dB/+10 dB/+18 dBに切り換えることができます。REMOTEは接続された機器から供給される電源電圧によって利得(GAIN)が切り換わります。
+9 Vの場合：+10 dB
+12 Vの場合：+18 dB
また、−3 dBを含めたどの利得(GAIN)でも、WS帯/1.2 GHz帯のBPFとして機能します。

1台で+18 dBのGAIN設定が可能
本機1台で+18 dBのGAIN設定が可能なので、より広範囲にシステムセッティングできます。

アンテナを上部にマウントでき、マイクロホンスタンドに取り付け可能
周波数帯に合わせた2モデル
テレビホワイトスペース帯およびB型周波数帯の470 MHz～862 MHzに対応したWB-01/Wと、1.2 GHz帯の1240 MHz～1260 MHzに対応したWB-01/Gの2モデルがあります。

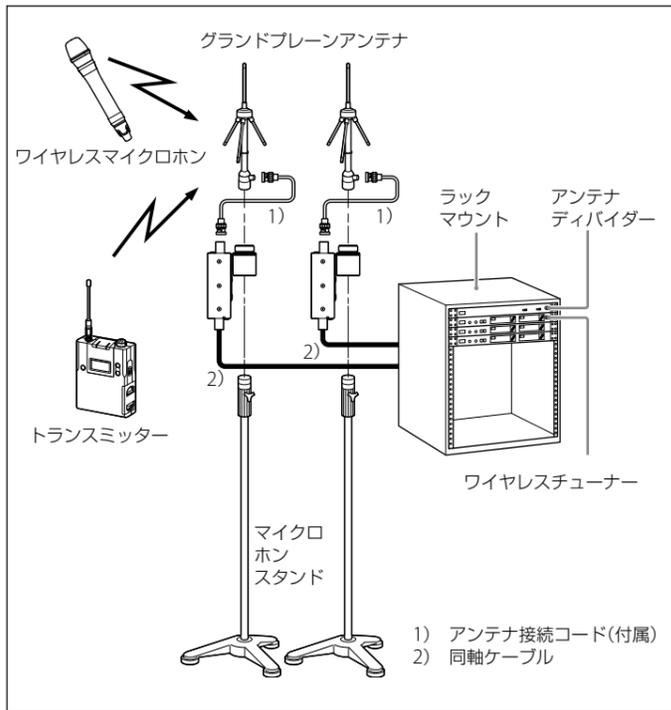
同軸ケーブルによる外部電源供給方式
出力コネクタから同軸ケーブルを介してワイヤレスレシーバーやアンテナディバイダー WD-01などに接続し、チューナーやディバイダーの電源を入れると、自動的に本機に電源が供給され、動作が可能な状態になります。

使用する同軸ケーブルについて チューナーやアンテナディバイダーにアンテナを接続するときには、50 Ω系の5D-2V以上の同軸ケーブルを使用することをおすすめします。75 Ω系の5C-2V以上のケーブルも使用できますが、50 Ω系のケーブルに比較して信号損失が大きくなります。 <p>信号の損失例： 5D-2V　50 mで12.5 dB、100 mで25 dB 5C-2V　50 mで13.5 dB、100 mで27 dB</p> また、延長距離が長くなるほど、信号損失は大きくなります。同軸ケーブルは、なるべく短いものをお使いください。
--



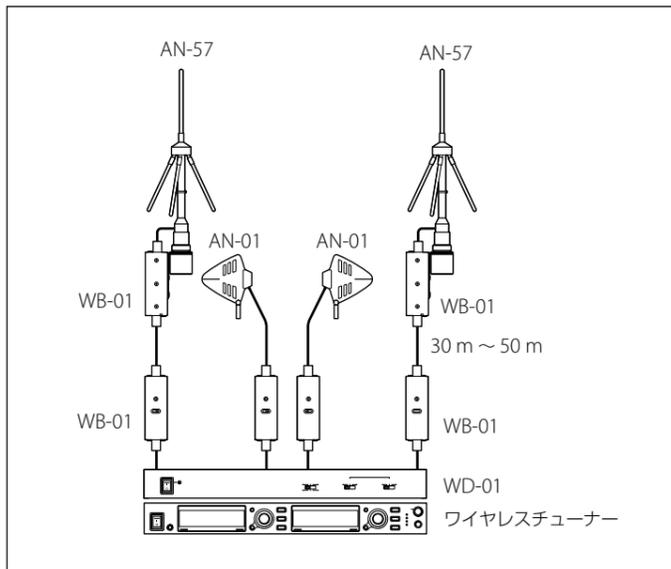
- アンテナ入力コネクタ（BNC-R型）アンテナの出力を接続します。
- アンテナ取り付けネジ(PF1/2-山14)アンテナを取り付けます。
- スタンド取り付けネジ(PF1/2-山14)マイクロホンスタンドなどを取り付けます。このネジは回転させることができます。アンテナ入力コネクタとアンテナの出力コネクタが近すぎて付属のアンテナ接続コードで接続できない場合は、適当な位置までネジを回転させてください。
- ブラケット固定用ネジ(Φ2.6×6 (2本))ブラケットを固定します。
- ブラケットアンテナ取り付け部にPF1/2凸ネジ、スタンド取り付け部にPF1/2凹ネジを採用しています。これらのネジを使ってアンテナを直接マイクロホンスタンドに接続できます。ブラケットは取りはずすことができます。ケーブル配管内に組み込む場合などは、必要に応じて取りはずしてください。
- 出力コネクタ（BNC-R型）同軸ケーブルでワイヤレスレシーバーやアンテナディバイダー WD-01の後面のアンテナ入力コネクタと接続します。DWR-R02DNやWD-01などから、同軸ケーブルを通じて電源が供給されます。
- 利得切り換えスイッチ利得−3 dBで動作させるとき：−3 dBの位置に合わせます。利得+10 dBで動作させるとき：+10 dBの位置に合わせます。利得+18 dBで動作させるとき：+18 dBの位置に合わせます。REMOTEにより利得を切り換えるとき：REMOTEの位置に合わせます。通常はREMOTEに設定しておきます。強電界、混信、妨害電波などがあるため、サービスエリアを狭く設定して使用するときは、−3 dBに設定し、必要に応じて受信機(DWR-R02DNなど)に内蔵されたアンテナ入力アッテネーターを使用してください。
- ご注意**
 - REMOTEの場合は、−3 dBには設定できません。
 - 電源が供給されないと本機は動作しません。
- 電源インジケーター本機に電源が供給されると点灯し、本機が動作中であることを示します。また、点灯する色によってGAIN設定の状態を表します。
青：利得−3 dB
緑：利得+10 dB
橙：利得+18 dB

接続例



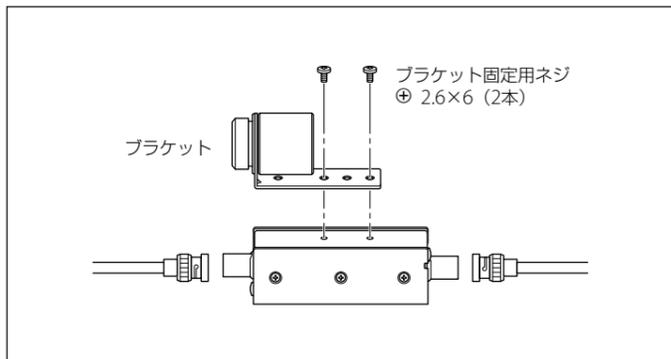
WB-01の増設について

本機は電流通過型になっています。このため、同軸ケーブルの途中に中継アンプとして1台増設して使用することができます。



ブラケットを取りはずす

ブラケットは、必要に応じて取りはずしてください。その際、ブラケット固定用ネジは元の位置に取り付けてください。



ケーブル損失の計算表

運用周波数を変更する際、既設のアンテナケーブルの損失が増加します。以下の表を参考に本機の利得を設定してください。

ケーブル長10 mあたりの損失

周波数[MHz]	汎用タイプ				低損失タイプ				超低損失タイプ		
	3D-2V	5D-2V	8D-2V	10D-2V	3.5-DS	5D-FB	8D-FB	10D-FB	5D-SFA	8D-SFA	10D-SFA
800	4.05	2.64	1.95	1.55	2.65	1.79	1.23	1.00	1.46	1.01	0.80
1200	5.20	3.50	2.60	2.10	3.43	2.30	1.60	1.30	1.85	1.30	1.05

ケーブル長あたりの損失

ケーブル長[m]	ケーブル損失[dB] (上段：TV WS帯、下段：1.2 GHz帯)										
	汎用タイプ				低損失タイプ				超低損失タイプ		
	3D-2V	5D-2V	8D-2V	10D-2V	3.5-DS	5D-FB	8D-FB	10D-FB	5D-SFA	8D-SFA	10D-SFA
1	0.4	0.3	0.2	0.2	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	0.5	0.4	0.3	0.2	0.3	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1
3	1.2	0.8	0.6	0.5	0.8	0.5	0.4	0.3	0.4	0.3	0.2
	1.6	1.1	0.8	0.6	1.0	0.7	0.5	0.4	0.6	0.4	0.3
10	4.1	2.6	2.0	1.6	2.7	1.8	1.2	1.0	1.5	1.0	0.8
	5.2	3.5	2.6	2.1	3.4	2.3	1.6	1.3	1.9	1.3	1.1
30	12.2	7.9	5.9	4.7	8.0	5.4	3.7	3.0	4.4	3.0	2.4
	15.6	10.5	7.8	6.3	10.3	6.9	4.8	3.9	5.6	3.9	3.2
45	18.2	11.9	8.8	7.0	11.9	8.1	5.5	4.5	6.6	4.5	3.6
	23.4	15.8	11.7	9.5	15.4	10.4	7.2	5.9	8.3	5.9	4.7
60	24.3	15.8	11.7	9.3	15.9	10.7	7.4	6.0	8.8	6.1	4.8
	31.2	21.0	15.6	12.6	20.6	13.8	9.6	7.8	11.1	7.8	6.3
100	40.5	26.4	19.5	15.5	26.5	17.9	12.3	10.0	14.6	10.1	8.0
	52.0	35.0	26.0	21.0	34.3	23.0	16.0	13.0	18.5	13.0	10.5

800 MHz帯で使用していたケーブルを1.2 GHz帯で使用する場合の参考

周波数の違いによるケーブル損失の増加

ケーブル長[m]	損失増加分[dB]										
	汎用タイプ				低損失タイプ				超低損失タイプ		
	3D-2V	5D-2V	8D-2V	10D-2V	3.5-DS	5D-FB	8D-FB	10D-FB	5D-SFA	8D-SFA	10D-SFA
1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
3	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
10	1.2	0.9	0.7	0.6	0.8	0.5	0.4	0.3	0.4	0.3	0.3
30	3.5	2.6	2.0	1.7	2.3	1.5	1.1	0.9	1.2	0.9	0.8
45	5.2	3.9	2.9	2.5	3.5	2.3	1.7	1.4	1.8	1.3	1.1
60	6.9	5.2	3.9	3.3	4.7	3.1	2.2	1.8	2.3	1.7	1.5
100	11.5	8.6	6.5	5.5	7.8	5.1	3.7	3.0	3.9	2.9	2.5

受信アンテナ系の設定について

3D-2Vの場合	ケーブル長30 m程度までであればそのまま(ブースター利得10 dB)使えます。ケーブル長が30 m程度より長い場合は、ブースターの利得を18 dBにし、受信機のアッテネーターを調整します。
5D-2Vの場合	ケーブル長45 m程度までであればそのまま(ブースター利得10 dB)使えます。ケーブル長が45 m程度より長い場合は、ブースターの利得を18 dBにし、受信機のアッテネーターを調整します。
8D-2Vの場合	ケーブル長60 m程度までであればそのまま(ブースター利得10 dB)使えます。ケーブル長が60 m程度より長い場合は、ブースターの利得を18 dBにし、受信機のアッテネーターを調整します。
10D-2Vの場合	ケーブル長60 m程度までであればそのまま(ブースター利得10 dB)使えます。ケーブル長が60 m程度より長い場合は、ブースターの利得を18 dBにし、受信機のアッテネーターを調整します。
5D-FBの場合	ケーブル長60 m程度までであればそのまま(ブースター利得10 dB)使えます。ケーブル長が60 m程度より長い場合は、ブースターの利得を18 dBにし、受信機のアッテネーターを調整します。
8D-FBの場合	ケーブル長100 m程度までであればそのまま(ブースター利得10 dB)使えます。ケーブル長が100 m程度より長い場合は、ブースターの利得を18 dBにし、受信機のアッテネーターを調整します。
10D-FBの場合	ケーブル長100 m程度までであればそのまま(ブースター利得10 dB)使えます。ケーブル長が100 m程度より長い場合は、ブースターの利得を18 dBにし、受信機のアッテネーターを調整します。

主な仕様

利得	-3 dB/+10 dB/+18 dB切り換え
周波数範囲	WB-01/W (WS帯/B型)：470 MHz ~ 862 MHz WB-01/G (1.2 GHz帯)：1240 MHz ~ 1260 MHz
入出力コネクタ	BNC-R型
入出力インピーダンス	50 Ω
電源電圧	DC 9V/12V (標準12V) 同軸ケーブルによる外部電源供給(本機は、外部からの電源供給により動作します。) 60 mA以下(9V供給時)
消費電流	60 mA以下(9V供給時)
許容動作温度範囲	0℃ ~ 50℃
保存温度範囲	-20℃ ~ +60℃
外形寸法	25 mm × 25 mm × 100 mm (ブラケットを除く)
質量	約120 g
付属品	アンテナ接続コード(1) 取扱説明書(1) フランチブックレット(1)

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 本製品を使用したことによるお客様、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いかねます。
- 諸事情による本製品に関連するサービスの停止、中断について、一切の責任を負いかねます。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定の事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときは

お買い上げ店、または添付の「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合、ご要望により有料修理させていただきます。

保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な点は、お近くのソニー営業所にお問い合わせください。

お問い合わせは
「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1